



たじま せつ お
田嶋 節夫 さん (69歳)

出身：古野牛川 地区

国士舘大学4年生の時に、第10区走者（アンカー）として、第52回箱根駅伝（1976年開催）に出場。区間6位、総合で8位となり、次年度のシード権獲得に大きく貢献。

大学卒業後は、下北郡の小・中学校で教壇に立つ。

田嶋さん（旧姓：三国）は、古野牛川地区出身で、両親とも漁師の家庭で育ったそうです。

両親の後を継ごうとも考えたそうですが、船酔いが酷く断念し、入口中学校を卒業後、田名部高校への進学を決めたそうです。

中学・高校時代と陸上の選手として活躍し、各大会でも入賞する実力者でした。

そんな自慢の足で挑んだのが、箱根駅伝です。

当時は、現在よりも6校少ない15校の出場で、シード権を得られるのも上位9校までだったそうです。

田嶋さんは当時は振り返って「3年生の時は補欠で出られなかったので、4年生では何としても出たかった。なので走ることが出来て本当に嬉しかった。ゴールまで残り2キロのときに監督から『お前のことを放送するから頑張れ！』と言われ、実際に『青森県田名部高校出身の三国節夫、一生懸命腕を振っております。』と放送されたことがとても印象深いです」と話してくれました。

大学卒業後は、風間浦村の蛇浦小学校や東通村の入口小学校（教諭）、白糠小学校（教頭）などを歴任され、東通村の教育に貢献いただきました。



アンカーとして箱根駅伝を走る田嶋（旧姓：三国）さん

※ 田嶋さん提供